

サロン名： 「人が元気！まちが元気！城南健康塾 報告書

場 所： 城南公民館 第一学習室

開催日時	令和 2年 2月9日				
参加者数 計 名	内 訳	男性	女性	協力団体	ささえりあ
	人 数	3名	23名	名	1名(梅田)
内 容	10:00 - 10:05 講師紹介 司会進行：大谷理事長 10:05 - 11:40 第3回 講師Re学 川畑 智氏 認知症予防とケア 11:40 質疑応答 12:00 片付け				

活動風景



- ◎ 認知症の歴史から紹介され、呼称からその当時の「認知症」に対する見解が理解できた。
- ◎ 認知症予防は世界基準だと35歳からスタートするほうがいいとのお話し。
- ◎ 熊本県では今後年間2000人づつ増えてくる。
- ◎ もの忘れ 物の名前がでてこない、者の名前がでてこない。
- ◎ 認知症の人は、なにもわからなくなる人ではなくて、覚えられないから、何回も同じことを聞く同じことを言う。頑張っている人。
- ◎ 認知症と非認知症の違いを事例を交えて説明あり。私たちは今「非認知症」。「認知症」の方の世界は分からない。自分の指で眼鏡を作り見えた領域の世界が認知症の人の世界ととらえ、関り方を学んでいく事が大切。認知症が進んでも「感情記憶」は残っている。物事を感じる心は残っている。プラスの感情に働きかけることが大切。「笑顔」「身振り」「手振り」等活用して安心できるかわりを大事な家族の為に学んでいきましょう。
- ◆ 楽しい話術で受講生も楽しく学ぶことができた様子でした。